

心理・社会福祉学部 (2023年度入学生)

ディプロマ・ポリシー

武庫川女子大学心理・社会福祉学部では、来るべき人間中心社会の担い手として、「誰一人取り残さない (leave no one behind) 世界」の実現に向けて、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に貢献できる人を育成します。

心理学科・社会福祉学科のそれぞれが定める能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。

卒業が認定された心理学科の者には、学士(心理学)の学位を、卒業が認定された社会福祉学科の者には、学士(社会福祉学)の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー

武庫川女子大学心理・社会福祉学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけた人材を育成するために、体系的かつバランスのとれた教育課程を編成し、主体的積極的な学びを促します。学習者は、「共通教育科目」「基礎教育科目」「専門教育科目」および「特別教育・資格関係科目」にわたって計画的に履修し、1つ1つの科目の学びがもたらす意義を自覚して、知識・技能・判断力を養成します。

「基礎教育科目」では、専門教育への導入的役割を担う授業を開講します。全学的に実施している「初期演習」は、学生が主体的に学び、実践する姿勢を身につけるとともに、コミュニケーション能力を高め、学生相互の豊かで円滑な人間関係の構築を目指します。そのほかの科目では、専門分野の学びの基礎となる知識を修得し、倫理観を育成する教育を行います。

「専門教育科目」では、それぞれの学科における専門知識を修得し、さらにその知識を体系的に統合して実践的に応用する能力を養います。そうして得られた学識と能力とを駆使して、最終学年では卒業論文に結実させます。

教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで、科目間の順次性・体系性を確保します。また、開講科目に設定される知識と技術を習得し、その実践的活用を可能にするために、アクティブラーニングなど学習者の能動的学習を促す教育手法を活用します。

各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、学習者に対してあらかじめ評価指標を明示し、適切かつ公正な評価を実施します。また、卒業論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。

アドミッション・ポリシー

武庫川女子大学心理・社会福祉学部は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・資質・意欲を備えた女性を求めます。

1. 高等学校までの教育課程を偏りなく修得し、十分な基礎学力を身につけている。
2. 人間中心社会の理念を理解し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む姿勢と意欲を持っている。
3. 他者と共に生きる社会における共同的な価値の創造を希求することができる。
4. 社会の多様性、異質性に謙虚に向き合い、社会的な課題に立ち向かう意欲を持っている。

また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。